

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベ ビ ー ファン ド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マ ザ ー ファン ド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビ ー ファン ド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マ ザ ー ファン ド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

第5期（決算日：2019年12月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）」は、去る12月9日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

化粧品市場はアジアを中心に大きく拡大しましたが、米中貿易問題の動向などに左右される展開となり、基準価額はやや下落しました。

期首から2019年8月中旬にかけては、米中貿易問題の深刻化や世界景気に対する先行き懸念などを背景に、基準価額は下落しました。また、日本では天候不順による日焼け止め需要の減少などが嫌気され、一部銘柄の株価が下落し、基準価額の下押し要因となりました。

2019年8月中旬以降は、米中が閣僚級協議を再開したことや米国を中心に金融緩和姿勢が鮮明となったことなどから基準価額は、上昇基調で推移しました。さらに、2019年7～9月期の決算において、欧米の有力化粧品メーカーを中心にアジア地域の高価格帯化粧品販売が好調に推移したことも上昇要因となりました。

運用のポイント

アジア地域での高いブランド力を評価して「L'OREAL」の組入比率の引き上げなどを行いました。一方で、業績動向から「INTL FLAVORS & FRAGRANCES」の全売

却を行いました。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー関連市場は、景気の好不調に左右されにくく、化粧品メーカーを中心に今後も着実な業績拡大が見込まれます。

2019年7～9月期の決算では、世界景気減速や香港での騒乱、人民元安などが懸念されました。しかし、全体としては大きな影響は見られずアジアを中心に高価格帯化粧品需要が大きく伸びていることが確認されました。また、日本では消費増税を前に幅広く駆け込み需要が発生しましたが、前回の消費増税時（2014年4月）の動向から考えると駆け込み需要が反動減を大きく上回っており、今回のケースも全体で考えれば化粧品メーカーの業績にはプラスとなる可能性が高いと予想しています。米中貿易問題や中国における並行輸入業者への規制などの動向によっては株価が一時的に下落する可能性はあります。しかし、最終的には安定的なビューティー関連市場の成長を背景とした利益成長に沿って株価は上昇することが見込まれます。当ファンドでは、ビューティー関連市場の動向を精査しながら、ポートフォリオの調整を随時行い、今後もパフォーマンスの向上に努めてまいります。



株式運用部
ファンドマネージャー

安井 陽一郎 村山 信明 加藤 明 長田 直樹 小島 直人 飯田 太郎

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			株組入比率	株式先物比率	純資産総額
		税金	分配金	騰落率			
(設定日)	円	円		%	%	百万円	
2017年7月31日	10,000	—	—	—	—	10	
1期(2017年12月11日)	10,001	1,147	11.5	88.6	—	634	
2期(2018年6月11日)	10,001	582	5.8	93.9	—	6,839	
3期(2018年12月10日)	8,956	0	△10.4	95.3	—	23,483	
4期(2019年6月10日)	10,000	228	14.2	97.4	—	25,326	
5期(2019年12月9日)	9,795	0	△2.1	95.8	—	25,983	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		株組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率		
(期首)	円	%	%	%	%
2019年6月10日	10,000	—	97.4	—	—
6月末	9,797	△2.0	97.2	—	—
7月末	9,849	△1.5	96.5	—	—
8月末	9,594	△4.1	97.4	—	—
9月末	9,524	△4.8	97.4	—	—
10月末	9,917	△0.8	97.9	—	—
11月末	9,825	△1.8	98.1	—	—
(期末)					
2019年12月9日	9,795	△2.1	95.8	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

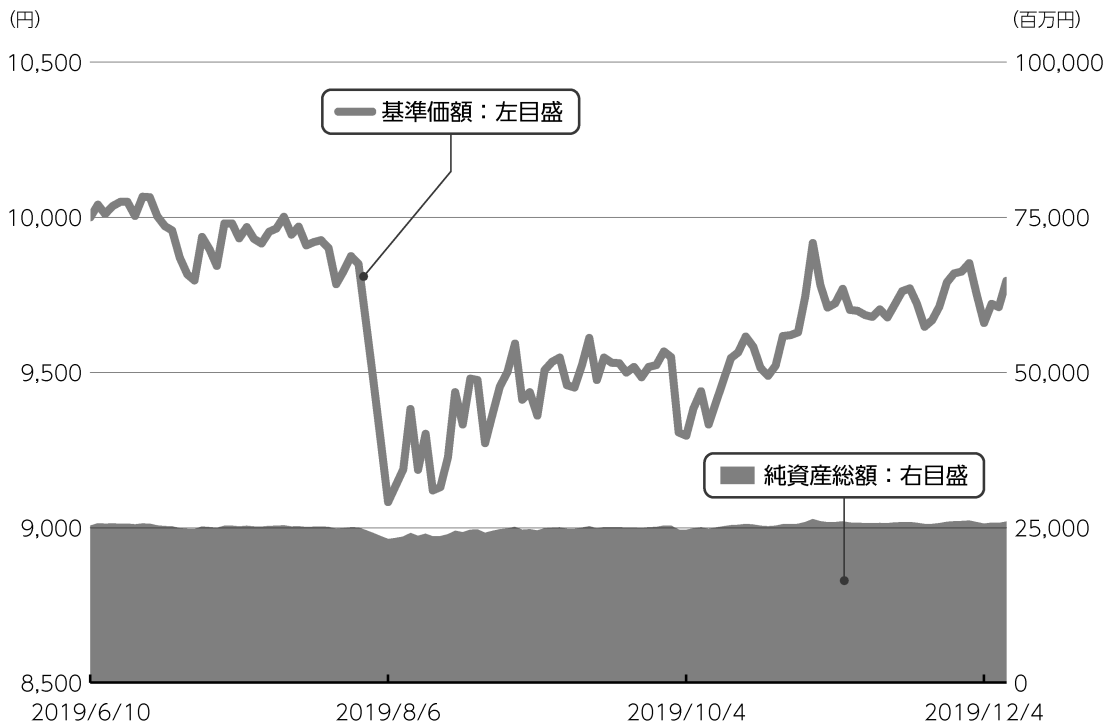
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第5期：2019年6月11日～2019年12月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第5期首	10,000円
第5期末	9,795円
既払分配金	0円
騰落率	-2.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.1%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

組入銘柄（ALIGN TECHNOLOGY INC、ULTA BEAUTY INC）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

第5期：2019年6月11日～2019年12月9日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

米連邦準備制度理事会（F R B）による政策金利の引き下げなど世界的な金融緩和傾向や米中貿易問題に関して閣僚級協議が行われるなど通商問題に進展の兆しが出始めたことなどを背景に上昇基調となりました。

▶ 為替市況

円は、ユーロなどを除き主要通貨に対して下落しました。

米国や英国での金利の底打ち期待などによって、円は、米ドルや英ポンドなどの主要通貨に対して下落した一方で、欧州においては、ドイツを中心に景気の先行き不透明感によって低金利が継続するとの見通しが強まり、ユーロに対しては上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から美容関連市場の恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。当ファンドでは、「高価格帯」、「アンチエイジング」、「オーガニック化粧

品」、「新たな販売チャネル」の4点に着目した運用を行いました。

通貨別では、米ドルや英ポンドの比率が低下し、ユーロやスイスフランの比率が上昇しました。

組入銘柄数については、期首の31銘柄から1銘柄増加し、期末は32銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

アジア地域での高いブランド力を評価して「L'OREAL」の組入比率の引き上げなどを行いました。一方で、業績動向から「INTL FLAVORS & FRAGRANCES」の全売却を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第5期 2019年6月11日～2019年12月9日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	334

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

足元では、世界景気の先行き不透明感から日常的には購入しない自動車や電化製品を中心に需要の減退が確認されていますが、化粧品に関してはアジアを中心に力強い状況が続いています。消費者は、ブランド力や素材に加えて、しわ改善や美白など機能性を重視しており、当ファンドが積極的に投資を行っている日本や欧米の大手化粧品メーカーへの恩恵は大きいと判断しています。米中間の通商問題が懸念されますが、高級化粧品を中心に生産における中国依存度は低く、関税引き上げによる影響は限定的であると考えられます。

2019年7－9月期の決算では、欧米の化粧品メーカーを中心にアジアでの事業拡大を背景として好決算が相次ぎました。また、日本の化粧品メーカーも天候や香

港での騒乱の影響はありましたが、消費増税前の駆け込み需要やアジア地域での販売額の増加などもあり、一部を除いて業績の拡大が続いています。今後は、駆け込み需要の反動減が懸念されますが、前回の消費増税時（2014年4月）の動向から考えると駆け込み需要が反動減を大きく上回っており、今回のケースも全体で考えれば化粧品メーカーの業績にはプラスとなる可能性が高いと予想しています。また、各社は反動減の影響を和らげるため、新商品の発売や既存商品のリニューアルを積極化しており、これらの取り組みにも注目が集まりそうです。

当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

2019年6月11日～2019年12月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	86	0.887	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(42)	(0.433)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.433)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.064	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(6)	(0.064)	
(c) 有価証券取引税	2	0.019	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.019)	
(d) その他費用	1	0.008	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	95	0.978	

期中の平均基準価額は、9,656円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

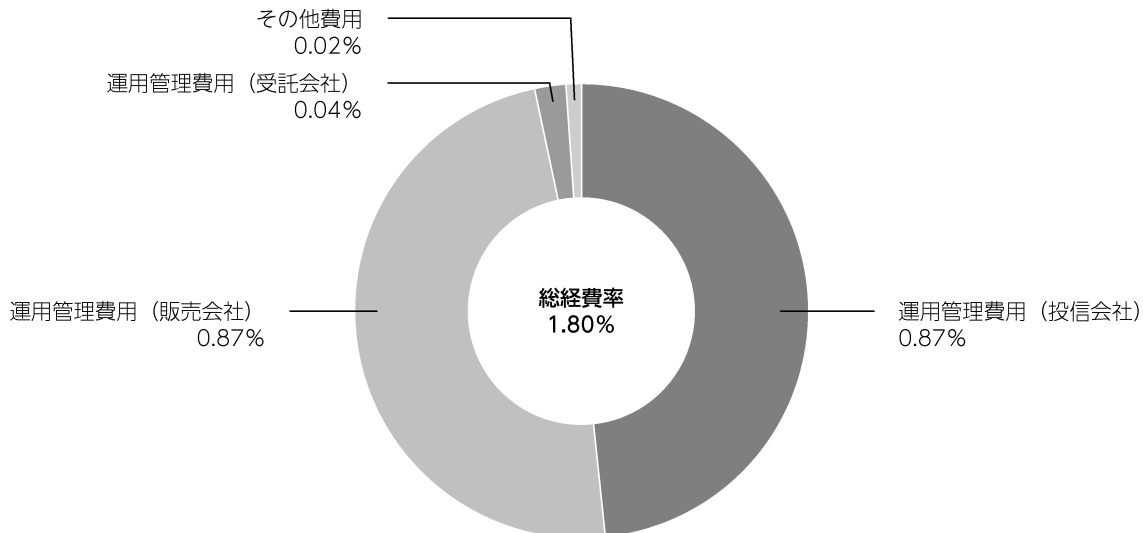
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月11日～2019年12月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	1,318,188	1,584,880	1,114,998	1,382,050

○株式売買比率

(2019年6月11日～2019年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ビューティー・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	16,604,298千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,158,045千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.53	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月11日～2019年12月9日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D		D C
		百万円	百万円			百万円	百万円	
株式	8,370	190		2.3	8,234	824		10.0
為替直物取引	3,290	571		17.4	3,200	1,756		54.9

平均保有割合 79.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	16,092千円
うち利害関係人への支払額 (B)	612千円
(B) / (A)	3.8%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年12月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	20,120,012	20,323,202	25,190,609

○投資信託財産の構成

(2019年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	25,190,609	95.7
コール・ローン等、その他	1,126,942	4.3
投資信託財産総額	26,317,551	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（23,977,438千円）の投資信託財産総額（32,870,921千円）に対する比率は72.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=108.60円	1ユーロ=120.08円	1イギリスポンド=142.78円	1スイスフラン=109.67円
1ノルウェークローネ=11.89円	1オーストラリアドル=74.21円	1香港ドル=13.87円	100韓国ウォン=9.14円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年12月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	26,317,551,916
コール・ローン等	435,752,519
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	25,190,609,397
未収入金	691,190,000
(B) 負債	333,919,465
未払解約金	110,347,990
未払信託報酬	223,149,640
未払利息	92
その他未払費用	421,743
(C) 純資産総額(A－B)	25,983,632,451
元本	26,527,876,842
次期繰越損益金	△ 544,244,391
(D) 受益権総口数	26,527,876,842口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,795円

○損益の状況（2019年6月11日～2019年12月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 75,548
受取利息	1,184
支払利息	△ 76,732
(B) 有価証券売買損益	△ 164,520,244
売買益	69,315,083
売買損	△ 233,835,327
(C) 信託報酬等	△ 223,572,148
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 388,167,940
(E) 前期繰越損益金	707,734,613
(F) 追加信託差損益金	△ 863,811,064
(配当等相当額)	(176,605,876)
(売買損益相当額)	(△1,040,416,940)
(G) 計(D+E+F)	△ 544,244,391
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 544,244,391
追加信託差損益金	△ 863,811,064
(配当等相当額)	(180,786,785)
(売買損益相当額)	(△1,044,597,849)
分配準備積立金	707,734,613
繰越損益金	△ 388,167,940

<注記事項>

- ①期首元本額 25,327,244,765円
 期中追加設定元本額 5,076,843,046円
 期中一部解約元本額 3,876,210,969円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9795円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は544,244,391円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年6月11日～ 2019年12月9日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	180,786,785円
分配準備積立金額	707,734,613円
当ファンドの分配対象収益額	888,521,398円
1万口当たり収益分配対象額	334円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第5期》決算日2019年12月9日

[計算期間：2019年6月11日～2019年12月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、12月9日に第5期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2017年7月31日	10,000		—	—	—	297
1期(2017年12月11日)	11,279		12.8	93.1	—	1,304
2期(2018年6月11日)	12,043		6.8	98.2	—	8,647
3期(2018年12月10日)	10,871	△	9.7	95.8	—	29,697
4期(2019年6月10日)	12,541		15.4	97.7	—	32,279
5期(2019年12月9日)	12,395	△	1.2	98.8	—	31,594

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		株 組 入 比 率 %	株 先 物 比 率 %
		騰	落		
(期 首) 2019年6月10日	12,541			97.7	—
6月末	12,296		△2.0	98.0	—
7月末	12,382		△1.3	97.4	—
8月末	12,077		△3.7	98.1	—
9月末	12,006		△4.3	98.3	—
10月末	12,524		△0.1	98.3	—
11月末	12,424		△0.9	98.6	—
(期 末) 2019年12月9日	12,395		△1.2	98.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

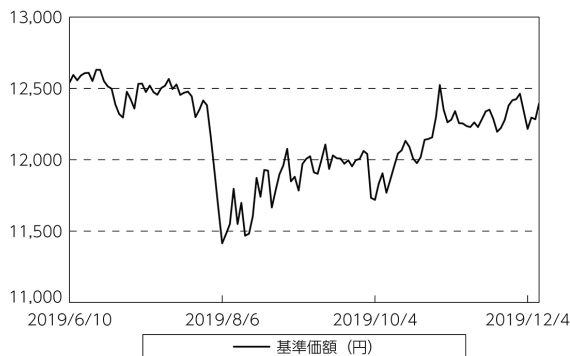
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

組入銘柄 (ALIGN TECHNOLOGY INC、ULTA BEAUTY INC) の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

●投資環境について

◎株式市況

・世界の株式市況は上昇しました。
米連邦準備制度理事会 (FRB) による政策金利の引き下げなど世界的な金融緩和傾向や米中貿易問題に関して閣僚級協議が行われるなど通商問題に進展の兆しが出始めたことなどを背景に上昇基調となりました。

◎為替市況

・円は、ユーロなどを除き主要通貨に対して下落しました。
米国や英国での金利の底打ち期待などによって、円は、米ドルや英ポンドなどの主要通貨に対して下落した一方で、欧州においては、ドイツを中心に景気の先行き不透明感によって低金利が継続するとの見通しが強まり、ユーロに対しては上昇しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・ 日本を含む世界各国の企業の中から美容関連市場の恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。
 - ・ 当ファンドでは、「高価格帯」、「アンチエイジング」、「オーガニック化粧品」、「新たな販売チャネル」の4点に着目した運用を行いました。
 - ・ 通貨別では、米ドルや英ポンドの比率が低下し、ユーロやスイスフランの比率が上昇しました。
 - ・ 組入銘柄数については、期首の31銘柄から1銘柄増加し、期末は32銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

アジア地域での高いブランド力を評価して「L' OREAL」の組入比率の引き上げなどを行いました。一方で、業績動向から「INTL FLAVORS & FRAGRANCES」の全売却を行いました。

○今後の運用方針

- ・ 足元では、世界景気の先行き不透明感から日常的には購入しない自動車や電化製品を中心に需要の減退が確認されていますが、化粧品に関してはアジアを中心に力強い状況が続いています。消費者は、ブランド力や素材に加えて、しわ改善や美白など機能性を重視しており、当ファンドが積極的に投資を行っている日本や欧米の大手化粧品メーカーへの恩恵は大きいと判断しています。米中間の通商問題が懸念されますが、高級化粧品を中心に生産における中国依存度は低く、関税引き上げによる影響は限定的であると考えられます。

- ・ 2019年7～9月期の決算では、欧米の化粧品メーカーを中心にアジアでの事業拡大を背景として好決算が相次ぎました。また、日本の化粧品メーカーも天候や香港での騒乱の影響はありましたが、消費増税前の駆け込み需要やアジア地域での販売額の増加などもあり、一部を除いて業績の拡大が続いています。今後は、駆け込み需要の反動減が懸念されますが、前回の消費増税時（2014年4月）の動向から考えると駆け込み需要が反動減を大きく上回っており、今回のケースも全体で考えれば化粧品メーカーの業績にはプラスとなる可能性が高いと予想しています。また、各社は反動減の影響を和らげるため、新商品の発売や既存商品のリニューアルを積極化しており、これらの取り組みにも注目が集まりそうです。
- ・ 当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年6月11日～2019年12月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 8 (8)	% 0.064 (0.064)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.019 (0.019)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	11	0.089	
期中の平均基準価額は、12,160円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月11日～2019年12月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 357	千円 1,923,604	千株 296	千円 1,809,567
	アメリカ	百株 2,734	千アメリカドル 31,927	百株 3,464	千アメリカドル 40,769
外国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	394	3,648	125	1,306
	フランス	620 (84)	9,357 (-)	36 (0.01)	1,139 (-)
	オランダ	200	1,038	108	575
	イギリス	796	千イギリスポンド 3,820	1,965	千イギリスポンド 9,323
スイス	78	千スイスフラン 7,388	16	千スイスフラン 3,200	

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年6月11日～2019年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	16,604,298千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,158,045千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.53

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月11日～2019年12月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 8,370	百万円 190	% 2.3	百万円 8,234	百万円 824	% 10.0
為替直物取引	3,290	571	17.4	3,200	1,756	54.9

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	20,212千円
うち利害関係人への支払額 (B)	772千円
(B) / (A)	3.8%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年12月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期		末
	株 数	株 数	評 価	額
	千株	千株		千円
化学 (100.0%)				
竹本容器	142.4	152.4		167,487
花王	117.6	36.5		325,507
資生堂	321.2	378.5		2,876,600
マンダム	29.1	29.1		86,601
ミルボン	137.6	60.6		374,508
ファンケル	473.5	599.5		1,711,572
コーセー	81	109.3		1,858,100
ポーラ・オルビスホールディングス	21.6	21.6		58,147
ノエビアホールディングス	31.7	28.7		177,079
合 計	株 数 ・ 金 額	1,355	1,416	7,635,602
	銘 柄 数 < 比 率 >	9	9	<24.2%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	938	430	2,934	318,681	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	1,411	1,377	27,269	2,961,501	家庭用品・パーソナル用品	
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	379	—	—	—	素材	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	2,114	2,071	25,719	2,793,191	家庭用品・パーソナル用品	
CLOROX COMPANY	307	97	1,479	160,648	家庭用品・パーソナル用品	
ALIGN TECHNOLOGY INC	461	221	6,117	664,349	ヘルスケア機器・サービス	
ULTA BEAUTY INC	398	600	15,732	1,708,495	小売	
CHURCH & DWIGHT CO INC	—	409	2,873	312,032	家庭用品・パーソナル用品	
INTER PARFUMS INC	215	430	3,131	340,054	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	1,228	1,251	14,021	1,522,703	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	1,848	1,685	12,554	1,363,426	消費者サービス	
CALAWO GROWERS INC	172	172	1,534	166,656	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	9,476	8,746	113,367	12,311,741	
	銘柄数<比率>	11	11	—	<39.0%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BEIERSDORF AG	961	981	10,283	1,234,867	家庭用品・パーソナル用品	
SYMRISE AG	668	918	7,953	955,062	素材	
小計	株数・金額	1,629	1,899	18,237	2,189,930	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<6.9%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	223	224	9,011	1,082,054	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	440	724	18,603	2,233,946	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	845	1,229	4,488	539,007	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	1,509	2,179	32,103	3,855,007	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<12.2%>	
(ユーロ…オランダ)						
UNILEVER NV	—	1,970	10,715	1,286,687	家庭用品・パーソナル用品	
UNILEVER NV-CVA	1,878	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	1,878	1,970	10,715	1,286,687	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.1%>	
ユーロ計	株数・金額	5,018	6,048	61,056	7,331,625	
	銘柄数<比率>	6	6	—	<23.2%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	1,872	2,008	9,139	1,304,944	家庭用品・パーソナル用品	
CRODA INTERNATIONAL PLC	1,768	463	2,272	324,503	素材	
小計	株数・金額	3,640	2,471	11,412	1,629,448	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<5.2%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	48	46	13,481	1,478,557	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	—	64	6,097	668,751	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額	48	110	19,579	2,147,308	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<6.8%>	
(香港)			千香港ドル			
L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	4,302	4,302	8,389	116,367	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	4,302	4,302	8,389	116,367	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.4%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(韓国) LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE	百株 4	百株 4	千韓国ウォン 618,296	千円 56,512	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 4	株 数 4	618,296	56,512	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 0.2% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 22,490	21,684	—	23,593,004	
	銘 柄 数 < 比 率 >	22	23	—	< 74.7% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 31,228,606	% 95.0
コール・ローン等、その他	1,642,315	5.0
投資信託財産総額	32,870,921	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（23,977,438千円）の投資信託財産総額（32,870,921千円）に対する比率は72.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.60円	1 ユーロ=120.08円	1 イギリスポンド=142.78円	1 スイスフラン=109.67円
1 ノルウェークローネ=11.89円	1 オーストラリアドル=74.21円	1 香港ドル=13.87円	100韓国ウォン=9.14円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年12月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,991,972,353
コール・ローン等	989,019,652
株式(評価額)	31,228,606,982
未収入金	754,952,997
未収配当金	19,392,722
(B) 負債	1,397,800,210
未払金	616,240,050
未払解約金	781,560,000
未払利息	160
(C) 純資産総額(A-B)	31,594,172,143
元本	25,490,067,975
次期繰越損益金	6,104,104,168
(D) 受益権総口数	25,490,067,975口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,395円

<注記事項>

- ①期首元本額 25,740,346,245円
 期中追加設定元本額 1,764,480,441円
 期中一部解約元本額 2,014,758,711円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2395円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	20,323,202,418円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	5,166,865,557円
合計	25,490,067,975円

○損益の状況 (2019年6月11日～2019年12月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	174,732,791
受取配当金	174,052,659
受取利息	904,054
その他収益金	1,579
支払利息	△ 225,501
(B) 有価証券売買損益	△ 492,093,051
売買益	1,394,029,342
売買損	△1,886,122,393
(C) 保管費用等	△ 2,037,421
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 319,397,681
(E) 前期繰越損益金	6,539,613,579
(F) 追加信託差損益金	357,789,559
(G) 解約差損益金	△ 473,901,289
(H) 計(D+E+F+G)	6,104,104,168
次期繰越損益金(H)	6,104,104,168

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。